



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

～広げよう有功の輪～

有功ひろしま

広島県赤十字
有功会会報

7号

青少年赤十字活動への支援 ～ベストを贈呈～

平成23年度の赤十字への支援事業として、青少年赤十字の活動用ベストを70着贈呈いたしました。このベストは、街頭献血や街頭募金、日韓交流事業等メンバーが活動を行う際に着用します。

平成23年10月22日(土)の青少年赤十字広島県大会において、有功会副会長古川浩様から、青少年赤十字メンバーと指導者の代表に贈呈され、受け取ったメンバーは、「青少年赤十字活動にこれまで以上に積極的に取り組みたい」と決意を新たにしておりました。



▲青少年赤十字広島県大会にて活動用ベストを贈呈



▲ベストを着用して活動する青少年赤十字メンバー(東日本大震災支援街頭募金)

会長挨拶

広島県赤十字有功会 会長
深山 英樹



今年度から、広島県赤十字有功会会長に就任いたしました深山でございます。

昨年は、未曾有の被害をもたらした東日本大震災をはじめ、台風や記録的な大雨による被害が相次ぎ、災害の多い年となりましたが、復興を願って多くの人々から救いの手が差し伸べられ、全国各地が「絆」で結ばれた年でもありました。

災害により亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

さて本会は、赤十字思想の普及と事業の伸展に貢献する活動を行っており、今年度は、赤十字への支援として、青少年赤十字の活動用ベストを贈呈しました。また、東日本大震災において海外からも多くのご支援をいただいたことから、感謝の気持ちを込め、赤十字が行う「海外たすけあいキャンペーン」にもご協力いたしました。

会員の皆様の赤十字運動へのご協力に厚くお礼申し上げます。

人々の命と健康、尊厳を守るための様々な活動に対し、今後も、支援を続けてまいりたいと存じます。引き続き会員の皆様には、支援の輪を広げるため、仲間作り運動の推進にご協力いただくとともに、有功会の活動に一層のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

本年が、皆様にとって良い年になりますとともに、東日本大震災により被害に遭われた地域の1日も早い復興を祈念申し上げ、ご挨拶いたします。

平成23年度事業実施経過報告

① 役員会・総会の開催

8月23日(火)役員会・総会開催 (広島市中区)

② 全国有功会組織との連携等

10月27日(木)～28日(金)

日赤紺綬・有功会会長協議会総会(愛媛県松山市)

【出席者】 深山 英樹 広島県赤十字有功会会長

中川 日出男 日赤広島県支部事務局長

③ 仲間づくり運動の推進

有功章受章者へ入会案内送付

(銀色有功章50件・金色有功章14件)

④ 赤十字事業への支援

青少年赤十字活動用ベスト贈呈

「NHK海外たすけあい」キャンペーン協力

⑤ 赤十字事業に関する情報の提供

広島県有功会会報第七号発行・赤十字新聞の発送・

インターネットを通じた広報

平成23年度広島県赤十字有功会総会 開催

平成23年8月23日(火)、平成23年度広島県赤十字有功会総会がメルパルク広島(広島市中区)で開催され、会員等38名が参加しました。

総会では、平成22年度決算・事業報告及び平成23年度予算・事業計画、役員改選について審議されました。

決算・事業報告と予算・事業計画は、原案のとおり全会一致で承認され、役員改選では、宇田誠会長と佐竹利子副会長の退任に伴い、副会長の深山英樹様(広島ガス株式会社代表取締役会長)が会長に、副会長に池田晃治様(株式会社広島銀行常務取締役)と木原和由様(株式会社サタケ常務取締役)が選出され、その他の役員は再任されました。

総会の議事に続き、広島赤十字・原爆病院看護係長米丸憲子様に東日本大震災における災害救護活動報告を、また、広島新庄高等学校2年生の餅川大地様と田村菜欧様に、平成22年度有功会助成事業で実施した、広島・インドネシア青少年赤十字国際交流事業の参加報告をしていただきました。

総会終了後に行われた懇親会では、なごやかな雰囲気のもと会員相互の交流が行われ、有功会の更なる発展をと会場全体が盛り上がっていました。



▲総会の模様



▲青少年赤十字国際交流事業活動報告

広島県赤十字有功会役員紹介 (敬称略)																							
役職名		名前		会 長		副 会 長		副 会 長		副 会 長		副 会 長		常 任 委 員		常 任 委 員		常 任 委 員		監 事			
現職(法人) 居住地(個人)		深山英樹		広島ガス株式会社 代表取締役会長		古川浩		広島市中区		森本弘道		株式会社ちみじ銀行 特別顧問		池田晃治		株式会社広島銀行 常務取締役		木原和由		株式会社サタケ 常務取締役		小川壽	
														広島市南区		齋藤法明		宗教法人法瀧寺 代表役員		山根祐治		株式会社サンポール 取締役会長	
																		佐藤賢市		福山市		筒井数三	
																						株式会社シンコー 取締役会長	

平成23年度日赤紺綬・有功会 会長協議会総会開催

平成23年度総会が、10月27日(木)と28日(金)に愛媛県松山市の「松山全日空ホテル」で開催され、全国各都道府県紺綬・有功会から会長・役員等126名が出席しました。

広島県からは、当会深山英樹会長と日赤広島県支部より中川日出男事務局長が出席しました。

総会は、開催県である愛媛県赤十字有功会会長並びに、日赤紺綬有功会会長(山形県)の挨拶に続き、日赤社長、愛媛県支部長のご祝辞を頂いた後、愛媛県赤十字有功会の麻生会長を議長に選出し、議事が進められました。

議事では、平成22年度収支決算報告、平成23年度会計収支中間報告、役員の改選について協議された後、積極的な情報交換が行われました。

総会後は、松山市立子規記念博物館館長の竹田美喜様による「子規のふるさと松山～子規と真之と漱石～」と題した講演や日露戦争で捕虜になり、松山に送られてきたロシア人青年将校と、献身的に介抱した赤十字の女性看護師との愛を描いたミュージカル「誓いのコイン」が上演されました。



▲ 平成23年度日赤紺綬・有功会 会長協議会総会の模様

仲間づくり運動の推進に ご協力ください

赤十字を支援する輪を広げるため、会員の皆様には知人等に有功章社員への加入の声かけなどの仲間づくりの推進にご協力ください。

入会資格

日本赤十字社の事業資金に多額のご協力をいただき、日本赤十字社有功章を授与された個人及び法人・団体

◆銀色有功章

20万円以上(一時又は分割して)のご協力で「銀色有功章」を贈呈いたします。



◆金色有功章

50万円以上(一時又は分割して)のご協力で「金色有功章」を贈呈いたします。(個人の方は勲章、法人様は楯)



◆会員動向 (平成23年12月末日現在)

【個人】78名 【法人】180社 【計】258名

◆平成23年 新規会員紹介

ご入会いただきありがとうございます。(順不同・敬称略)

個人(7件)		市区郡町
力田 玉章	川本 佐代子	広島市西区
三上 忠彦	初島 八千代	広島市佐伯区
田村 宏	土井 清隆	呉市
佐藤 均		廿日市市
法人(20件)		市区郡町
株式会社大林組広島支店	株式会社桐原容器工業所	広島市中区
清水建設株式会社広島支店	戸田建設株式会社広島支店	広島市中区
株式会社野間産業	財団法人広島YMCA	広島市西区
株式会社フジタ広島支店	株式会社イケマサ	広島市佐伯区
株式会社万惣	有限会社井町ディーゼル	広島市佐伯区
河商株式会社	クニヒロ株式会社	呉市
進吾株式会社	興和建設工業株式会社	尾道市
山陽梁工株式会社	栄伸工業株式会社	福山市
株式会社府中建材センター	志和貨物自動車株式会社	府中市
瀬川金属精錬株式会社	蔵田ファイリング株式会社	廿日市市
		安芸郡坂町

慶弔 報告

(敬称略・順不同)

平成23年(春) 叙勲・褒章受章者

こころよりお慶び申し上げます。

○瑞宝小綬章

曾山 和彦 様 (広島市中区)

お悔み

謹んでご冥福をお祈りいたします。

古川 時紀子 様 (広島市中区) 荒谷 裕明 様 (安芸郡熊野町)

【寄稿のお願い】

会員の皆様と共に作る会報をめざしています。会員の皆様からのご寄稿をお願いいたします。赤十字事業への思い、俳句、短歌、詩、エッセー、写真、絵などなど、ぜひ、お寄せください。また、ご意見、ご要望などお聞かせください。

一人でも多くの命を救うために

～ 東日本大震災における日本赤十字社広島県支部の活動 ～

平成23年3月11日午後2時46分、宮城県三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生、東日本各地に未曾有の被害をもたらしました。

日本赤十字社広島県支部はこの災害に対し、即座に災害対策本部を設置し、救護活動を開始しました。これまでの取り組みについて報告します。



▲次々に患者が運ばれてくる石巻赤十字病院

医療救護班の派遣

3月11日18時過ぎ、第1班として医師・薬剤師・看護師・事務員からなる総員7名の医療救護班を被災地に派遣し、現地での医療救護活動を行いました。

その後も、6月30日までに宮城県石巻市を中心に計14班、116名を継続的に派遣しました。

こころのケア要員・石巻赤十字病院支援員等の派遣

家族や友人を失い、避難所での不自由な生活を強いられている被災者の精神的な苦痛を和らげるため、こころのケアスタッフ25名を8月11日までに派遣しました。

また、石巻赤十字病院の医療活動支援に32名、原発被害に対する被爆健康相談に15名の職員を派遣しました。

救援物資の支援

毛布や緊急セットなどの救援物資を被災者の元にお届けしました。

○3/13	毛布	1,200枚	宮城県山元町
○3/22	緊急セット	1,500組	宮城県気仙沼市
○3/28	緊急セット	336組	宮城県三陸町
○3/30	安眠セット	160組	宮城県亘理町

東日本大震災義援金受付 (平成23年12月末日現在)

受付状況

○全国 3,056億9,244万9,032円
○広島県支部扱い分 43億8,156万8,520円

皆様からお預かりした義援金は、被災した都道府県に設置される義援金配分委員会に全額送金され、その後、同委員会でも定められた配分基準に従って、被災市町村を通じて被災者へ届けられています。

「寄付金付き自販機」設置のお願い

ジュース、コーヒーなどの売り上げの一部が赤十字への寄付金となります。事業所等での設置にご協力をお願いいたします。



設置者様の社会貢献活動としてアピールできます。

売上金の一部が赤十字への寄付金になります。

設置者様のご負担はございません。

お問い合わせ



日本赤十字社 広島県支部
Japanese Red Cross Society

電話:082-545-5011 FAX:082-240-2741
Email:soshiki@hiroshima.jrc.or.jp

いざという時のために

広島県支部では、大災害に備え、救護物資(緊急セットや安眠セットなど)の備蓄、仮設医療所(dERU)などの整備、災害時の高齢者に対する生活を支援するための講習、今後、発生が予想される東南海・南海地震を想定した災害救護訓練を行っております。

これらの備えは、皆様からお寄せいただく活動資金をもとに行われております。



▲緊急セット

あ と が き

この度、赤十字有功会会報をリニューアルしました。これからも、より分かりやすく、親しみやすい会報を目指していきたいと思っております。

寒くて乾燥する日が続きます。皆様、インフルエンザや風邪など召されませぬよう、くれぐれも体調管理に注意してください。



- 平成24年2月発行
- 発行者: 広島県赤十字有功会
- 発行所: 広島県広島市中区千田町2-5-64
730-0052 日本赤十字社広島県支部内
電話(082)241-8811
<http://www.hiroshima.jrc.or.jp/merit>